

個人山行報告

白神山地・白神岳他、森吉山

平尾

かねてからの夢であった白神山地へ思い切って出かけた。用務もあり日程に限りがあるので、ぎりぎりの11日間で、フェリーは日程が合わず自家用車を利用して（往復4日間）の計画になった。

日時 2024年7月9日(火)～19日(金)1・2日目:青森県深浦町黄金崎へ、10・11日目:帰途

<7月11日>晴れ 陸奥岩崎から白神ラインで津軽峠をめざす

白神山地のシンボルとされる青森県西目屋村の津軽峠付近にある樹齢400年のブナ巨木マザーツリーに会いに行く。陸奥岩崎から津軽峠に向かう白神ライン(2/3が未舗装)が路肩崩壊で通行止め。日本海沿いに五所川原の手前から岩木山を巻くように弘前方面へ南下し、アクアビレッジANMONから未舗装路を津軽峠に向かう(往復6時間)。峠から白神山地自然観察歩道を高倉森(829m)登山口に向かい、分岐を200m(ブナ巨木ふれあいの径)ほど行ったところにマザーツリーはある。行ってみると通行止めのひもが張られていた。2018年9月の台風21号で幹が地上9mのところまで折れてしまったらしい。残念だがそのかつての雄姿をしのんだ。帰途深浦町北金谷にある日本一のオオイチョウを見てからアオーネ十二湖に行った。

<7月12日>晴れ 十二湖を歩く

十二湖は江戸時代の地震でできた33個の湖沼で崩山から見ると12見えたのがその名の由来。王池東湖バス停前の広場に駐車。ヒノキアスナロ(アオモリヒバ)やブナ、ミズナラなどの落葉広葉樹の中を順に日暮の池、萱池、糸畑の池、金山の池、四五郎池、長池、子宝の池、沸壺の池とめぐり道路にでる。倒木で通行止めになっていた鶏頭場の池横の道が、午後開通したので青池へ向かう。日が射しその神秘的なブルーの色の変化に魅せられた。ブナ自然林を通り沸壺の池をへて道路にで、落口の池、中の池、越口の池を見て駐車場に戻る。白神岳登山口駅から登山口の途中にある白神山荘に泊まる。2階から見た日本海に沈む夕陽が美しかった。有線放送で「クマ出没警報」の注意があったが、宿の主人いわく「ここ15年被害はなかった」。小屋の先代が長谷川恒夫氏と親交があったらしく、アイガー北壁登頂時に使ったピッケルが飾ってあった。

<7月13日>晴れ 白神岳に登頂する 14.2km、上1,338m/下1,336m、7時間53分

相方を五能線の白神岳登山口駅まで送り、登山口の駐車場に向かう。すでに18台の車が止まっていた。旧登山口を過ぎるとブナの奇形樹が出迎えてくれた。山腹の巻き道を行くと二股にでた。右の道は上級者向け、左の鯉山コースへすすむ。ブナ林を登っていくと鯉山分岐にでる。そこからはブナ林の中の気持ちのよい道が続く、稜線手前で急登が始まる。十二湖への道との分岐で稜線に出る。前方に向白神岳など白神山地の山が見える。ゆるやかに稜線を行くと斜面にニッコウキスゲやイブキトラノオなどお花畑が広がる。立派なトイレと避難小屋を越えると間もなく山頂(1,231m)。360度の展望だが、あいにくうっすら霞んでいる。昼食を取り下山にかかる。鯉山分岐で秋田から来た女性に鯉山への入口を聞き、行ってみる。3分程で樹林の中に山頂があった。周りはブナの木。戻って下山する。登山口まで30分程の所に電波が通じる場所があった。

<7月14日>晴れ 秋田県藤里町の藤里駒ヶ岳をめざす

藤里町の世界遺産センターをすぎ西目屋二ツ井線の舗装路を走る。5km程行ったところで全面通行止めになっていた。道路災害復旧工事のため10月31日まで全面通行止め(他に25年9月30日まで斜面の補強工事8～17時)。別の登山口もあるが時間がかかるので仕方なく引返し峨礫の滝と不動の滝、田中神社の大イチョウ(樹齢500年超、樹高24.3m、樹幹周囲8.5m)などを見て自然遺産センターを見学し、裏の高山(388m)に登る。

<7月15日>晴れ 大館市の田代岳をめざす

大館市から山瀬ダム・五色湖を通り未舗装路に行く。途中糸滝、五色の滝があった。荒沢登山口に駐車。ブナ林のなかの浅い溪流沿い、エゾアジサイが咲いていた。2合目ブナの前で、水

量が多い滑滝のような渡渉が待っていた。足場がなく滑りやすいため引返す。マタギの里の阿仁町まで行き、かつて「京都労山」で明峯の花折さんが紹介されていた駅舎にある温泉クインクス森吉で汗を流す。宿泊は、翌日が休館のため申込んだが断られた。森吉山阿仁スキー場へ向かいゴンドラ駅まで数分のところにある「ぶなホテル」に泊まる。バブル期に1億円で建てられたホテルということで、木造の床のクラシックな宿、貸切で檜風呂に入れた。十数皿の地元野菜や山菜とクマ鍋にアルコール飲み放題で地元の日本酒やサルナシ酒を賞味。

<7月16日>晴れ 阿仁町の森吉山をめざす 7.4km、上511m/下508m、約4時間

始発(8:45)のゴンドラに乗って標高差630m、総延長3.473kmを約15分で山頂駅に到着。山頂まで約70分、山頂(1,454m)からは360度の展望。花の百名山だけあり、ニッコウキスゲやチングルマの群落はじめ多くの花が見られた。山頂からさらにすすんで湿原のある山人平まで足を延ばした。見た花：イワカガミ、チングルマ、ツマトリソウ、ハクサンチドリ、ゴゼンタチバナ、ヨツバシオガマ、アオヤギソウ、ウラジロヨウラク、コバイケイソウ、ハクサンシャクナゲ、イワイチョウ、クモマニガナ、イワオトギリ、ハクサンジャズン、マルバシモツケ、ミヤマカラマツ、ミヤマホツツジ、ホソバノキソチドリ、ヤマブキシヨウマ、エゾアジサイ、キンコウカ、クルマユリ、コバギボウシ、ツルアリドオシ、ネバリノギラン、ニッコウキスゲ、モウセンゴケ他

<7月17日>曇りのち晴れ にかほ市の中島台・獅子が鼻湿原を歩く

鳥海山北麓の中島台・獅子ヶ鼻湿原(国天然記念物)へ行く。中島台レクリエーションの森には、ブナ原生林に異形巨木群があり、なかでも奇形ブナとしては日本一の「あがりこ大王」(推定樹齢300年以上幹回り7.62m)が見たかった。他に「あがりこ女王」、「燭台」と名付けられた奇形ブナや炭焼窯跡を見た。伏流水が7ヶ所から湧出、豊富な湧水に驚いた。鳥海マリモもあった。



十二湖 青池



白神岳 ブナ林



山頂稜線お花畑



森吉山へ



森吉山 山頂



ニッコウキスゲ 森吉山



ブナ林 田代岳



ブナ 中島台



あがりこ「燭台」